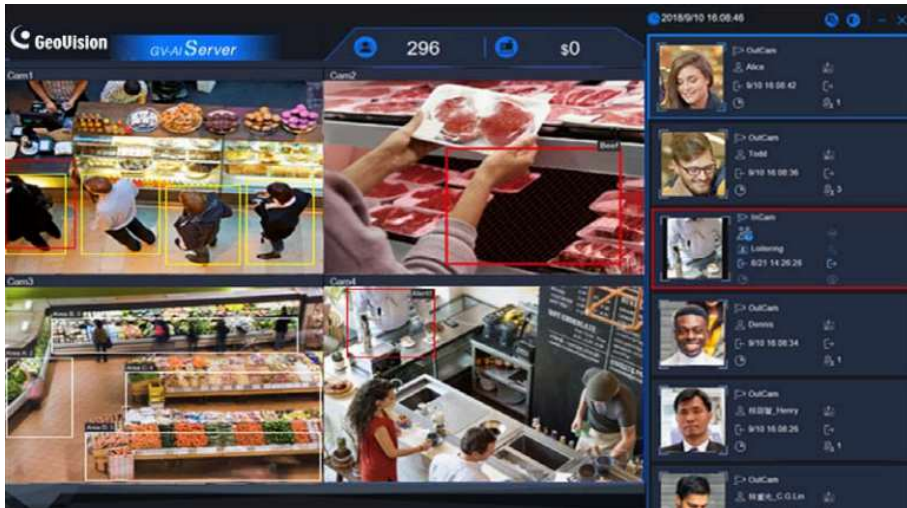


GV-AI Server



概要

GV-AI Serverは、最大8台のネットワークカメラを接続できる、AI画像解析技術による店舗向け映像管理ソフトウェアです。

顧客の年齢、性別、行動などの統計情報を把握し、売上の最大化を図ることができます。商品の欠品や不審者を自動検知して、管理担当者に通知することができます。



主な機能

- ネットワークカメラ最大8台接続可能
- リアルタイムの顔認識とトラッキング
- マスク着用時でも、リアルタイムで顔認識とトラッキング
- 顔1人当たりの平均認識速度は1秒以内(認識対象の人物がカメラに向かって移動している場合)
- 年齢・性別による顔のプロファイリング
- 棚寄り付きカウント：売場などの設定エリアの人の流れをカウント、立ち寄っている人数を集計
- 品切れ検知：商品陳列状態を自動検知、商品が少なくなるとパトライトなどでお知らせ
- レジ混雑検知：人の滞在や流れを自動検知、混雑状況時にパトライトなどでお知らせ
- 不審者・徘徊者検知
- 出入口で入退店する人数をカウント
- 人の滞在や流れのデータを集計するGV-AI対応カメラ・GV-3D People Counter V2/V3に対応
- 各画像解析イベントによる統計グラフを自動作成
- 日別/週別/月別/年別/時間別の訪問者数をエクスポート可能
- 画像解析イベントによる検索
- GV-VMS V18シリーズとの統合による顔認証イベントの録画・再生
- マスター&サブ機能(複数のGV-AI Serverを一元化されたフェイスデータベースで相互接続)

ライブモニタリングとWelcome表示

人が施設に入ると、事前に登録した顔データの照合を行い、接続されたWelcome画面に表示できます。

Dashboard & Average Hourly / Daily Face Count

Dashboard と Hourly / Daily Face Count機能は、1日分の訪問者の検出した顔の年齢と性別の分布、選択した日/週/月または年における毎時/毎日の訪問者の平均顔検出数を表示します。



顔属性と顔認識

検出された訪問者の顔映像をその属性とともにキャプチャして保存し、GV-AI Serverのデータベースに登録や照合比較することができます。

不審者・徘徊者検知

再度来店した不審者や徘徊者の行動を監視し、キャプチャ・再生する機能です。

人数カウント

出入口で入退店する人数をカウント

棚寄り付きカウントと品切れ検知

棚割や販売企画の最適化を図るために、設定エリアの人の流れ・立ち寄っている人数をヒートマップに表示し、商品陳列状態を自動検知、商品が無くなるとパトライトなどで担当者に通知することもできます。

レジ混雑検知

レジ精算の待ち時間や人数を検知し、設定値を超えた時担当者に通知することもできます。

ライセンス

GV-AI Serverは、別途ライセンス(認証用USB dongle)が必要となる有料ソフトウェアです。1~8チャンネルから1チャンネル単位でご利用いただけます。

無料ライセンス	N/A
最大ライセンス(有償)	8チャンネル
ライセンスの増分	1チャンネル
ライセンスタイプ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画像解析のみ: 顔属性(年齢、性別など)、棚寄り付きカウント、品切れ検知、レジ混雑検知、不審者・滞留者検知、人数カウント 2. 顔認証+画像解析
dongleタイプ	外付けタイプと内蔵タイプ

注:

認証用USB dongle(GV-USB dongle)は、外付けタイプと内蔵タイプの2種類があります。内蔵タイプは「ハードウェアウォッチドッグ」機能を搭載しており、Windowsがクラッシュした際にPCを自動再起動させることができます。

最小システム要件

	1 - 4チャンネル	1 - 8チャンネル
OS 64-bit	Windows 10 / Windows 11	
CPU	第8世代 Intel Core i7 / i9 以上	第11世代 Intel Core i7 / i9
メモリー	16 GB (8 GB x 2) DDR4 RAM	
リモートアクセス	Microsoft Internet Explorer11以降	

注:

- 画像解析を動作させるためには、オンボードGPU(グラフィックプロセッサ)を使用する必要があります。
(モニターが PCに接続されている場合のみ対応しています)
IPカメラのチャンネル数によって必要な仕様が異なります。下記の仕様を参考ください。
 - 1 - 4チャンネルのIPカメラ接続の場合、第8世代Intel Core i7 / i9 以上が必要です。
 - 5 - 8チャンネルのIPカメラ接続の場合、第11世代 Intel Core i7 / i9 が必要です。
- Intel Coreプロセッサのみ GV-AI Serverが起動します。他のブランドのCPUではGV-AI Serverは起動しません。
- ブラウザを介してリモートアクセスを行う場合、Internet Explorer(IE)を使用する必要があります。一部の機能はIE以外のブラウザでは対応していません。
- GV-AI Serverは仮想 PCへのインストールには対応していません。
- GV-AI Serverは、PC最小要件を満たしていない場合、正常に動作しないことがあります。

仕様

ビデオ入力	最大8チャンネル	
ビデオコーデック	H.264, H.265	
ビデオ解像度	1チャンネルあたり最大12メガピクセル	
IP カメラ対応	GeoVision製顔検出カメラ(GV-BX2600-FD / 2700 / 2700-FD / 4700 / 4700-FD / 8700-FD, GV-MD8710-FD)、GeoVision製魚眼カメラ、ONVIFまたはRTSPを介したIPカメラ、USBウェブカメラ	
ネットワーキング	LAN, WAN, Internet	
画像解析	機能	顔属性、顔認識、棚寄り付きカウント、品切れ検知、レジ混雑検知、不審者・徘徊者検知、人数カウント
	認証スピード	認識ターゲットがカメラに向かって移動しているとき、顔ごとに1秒以内
	顔データ数	100,000
	顔グループ数	無制限
	相互接続可能数	11(マスター×1+スレーブ ×10、マスターが管理する1つのフェイスデータベースを共有)
画像解析イベントのトリガー	I/OBox 出力、LINE通知、テレグラム通知、トリガー時のカメラ出力、スマホアプリのプッシュ通知、メール通知 * LINEのポリシー変更により、GV-AI-FRでのLINE Notifyは3月31日までの対応となります。2025年4月1日以降、LINE Notifyの全機能が利用できなくなります。	
ソフトウェアの統合	GV-VMS V18.1以降(ビデオ監視)	
モバイルアプリケーション	1. GV-Assistantアプリ 2. GV-Welcome for Android TVボックス / モバイルデバイス(Welcome画面表示用)	

言語

英語、中国語(繁体字)

注:仕様は予告なく変更される場合があります。

オプション

GV-IOボックスシリーズ	GV-IOボックスシリーズ (4E/8E/16E) は、それぞれ4点 / 8点 / 16点のセンサー機器 入力とリレー出力を備えており、DC出力電圧とAC 出力電圧両方に対応します。さらにGV-IO BOX 4Eは、PoE、TCP / IP およびRS-485 接続にも対応します。
GV-3D People Counter V2	GV-3D People Counter V2は、入退店者や滞在数を高精度にカウントすることができます。
GV-3D People Counter V3	GV-3D People Counter V3は、2つのレンズ(400万画素)で双方向の人の流れを検知・追跡・カウントすることができます。